

KAJI
COMPRESSOR

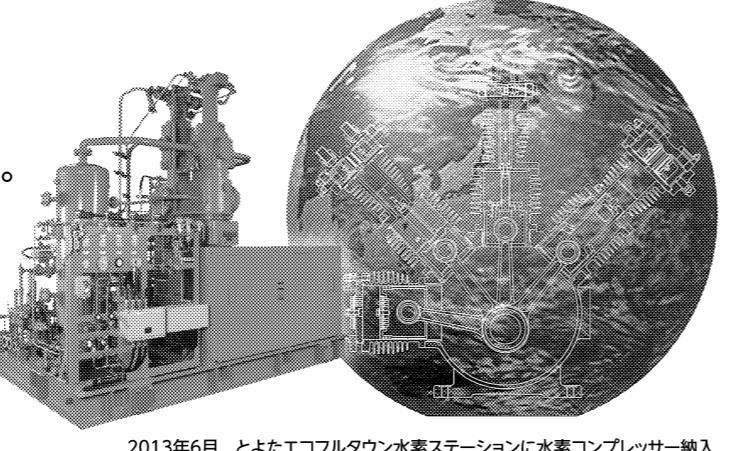
水素社会の未来へ向けて、私たち加地テックは
水素ステーション用コンプレッサーを提供します。

高圧ガス設備試験・製造認定事業所・ISO 9001・ISO 14001認証取得

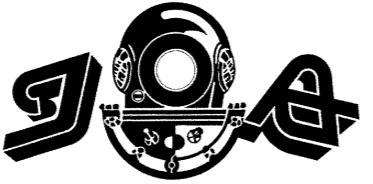
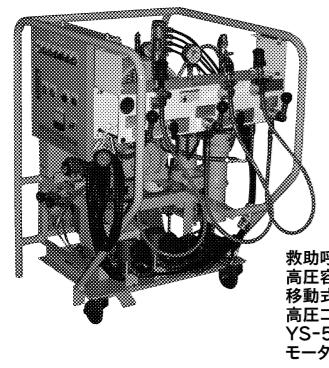
株式会社 加地テック

創業明治38年
東証2部上場
TEL072(361)0881本社・工場 〒587-0064 大阪府堺市美原区菅原6番地
東京支店 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-20-15 (高田馬場アクセス3F) TEL03(3232)2651
大阪支店 〒556-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70 (バクスター23F) TEL06(7662)8600
サービスセンター 〒275-0023 千葉県習志野市芝園2-2-6 TEL047(452)7660

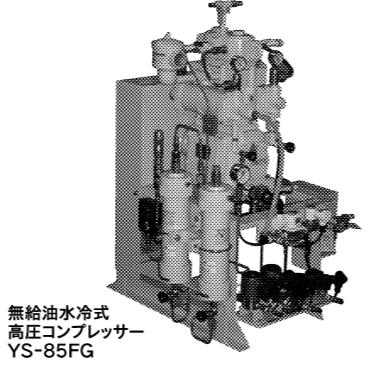
詳しくはホームページで 加地テック 検索



2013年6月 とよたエコフルタウン水素ステーションに水素コンプレッサー納入



PNEUMATIC SYSTEMS
HIGH PRESSURE EQUIPMENT & COMPRESSOR
TOA DIVING APPARATUS CO., LTD.
ENGINEERING DEPARTMENT
TOKYO JAPAN



東京工場 コンプレッサー事業部
〒116-0003
東京都荒川区南千住4-1-9

高圧コンプレッサーの専門メーカー
東亜潜水機株式会社

Tel.03-3803-2253~4(代表)
Fax.03-3803-2255
E-mail. info@toa-diving.co.jp
http://www.toa-diving.co.jp

写真3 排熱ドライヤー

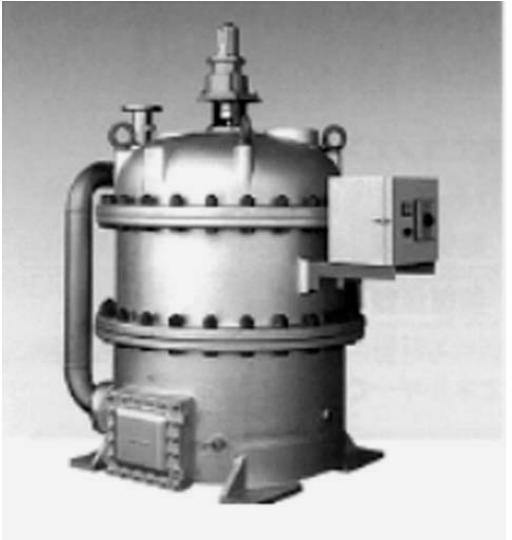
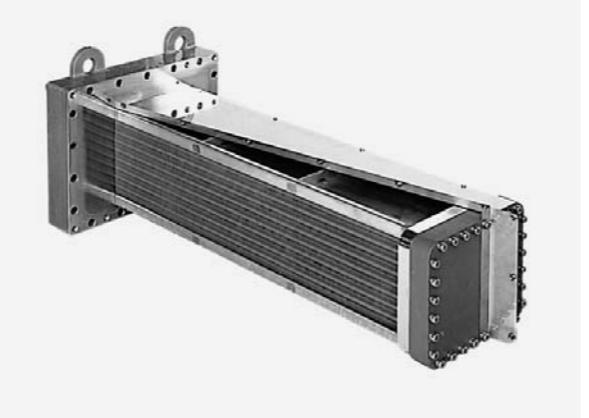
写真4 蒸気駆動式オイルフリー
コンプレッサー

写真1 プレートフィン式クーラー

写真2 インバーター、永久磁石モーター
搭載オイルフリー型スクリュー圧縮機

水潤式オイルフリーコンプレッサー
は、従来のオイル式コンプレッサーと
比較して、オイル漏洩によるメンテナ
ンスの煩わしさや、オイルの燃費による
運転コストの高さが大きな課題とな
っていました。しかし、最新技術を駆使
したこの機器は、これらの問題を解決す
る実力を持っています。

この機器は、オイルを循環させること無
く、潤滑油を直接空気と一緒に循環する
方式を採用しています。そのため、オイルの
漏洩や燃費による運転コストが大幅に削
減されることが期待できます。また、オイル
の漏洩によるメンテナンスコストも大幅に削
減されるため、総合的なコスト削減効果が
高いと言えます。

さらなる クリーンエアへ 進む エネルギー回収

真空ポンプ／プロワポンプの回転数をインバータ制御…

真空エアーを省エネしませんか?

従来の真空ポンプと比べ、最大84%の省エネを実現。

大流量インバータオイルフリー真空ポンプ KCE Series

eco speed control 搭載

※1 eco speed control:お客様の
エアー消費量に応じて最適な回転数
を自動判断する省エネ機構です。

- 液晶パネルで簡単操作
- 管理者に優しい液晶モニター
- モード表示 eco speed モード マニュアルモード
- eco speed メーター ローターの回転数(省エネ度)が 目で分かります

※1 eco speed control:お客様の
エアー消費量に応じて最適な回転数
を自動判断する省エネ機構です。●「eco speed control」により電気代削減
省エネ機構の「eco speed control」と高効率ロータとの相乗効果で
多くのお客様が、電気代を大幅に削減されています。

●静音設計による低運転音と低振動

●非接触構造によるロングライフ

写真はインバータオイルフリー真空ポンプKCEシリーズ
同シリーズは、排気量が192m³/h~620m³/hの間に高真空域を含めて15モデルをご用意しています。

オリオン機械株式会社

http://www.orionkikai.co.jp

お問い合わせは・・・真空システム技術部
〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
TEL(026)245-4206 FAX(026)245-4151
e-mail: pump@orionkikai.co.jp

市場ニーズに応え

汎用コンプレッサーは省スペース化も顧客要求事項であるため省エネと省スペース化を両立する手段としてフレート

（写真2）。最後に、運転パターンの最適化については、

エネルギー消費量に対する省エネ

（写真3）。

トローラーに自動発停機

による圧縮空気側

の最適化については、

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真4）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真5）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真6）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真7）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真8）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真9）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真10）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真11）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真12）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真13）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真14）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真15）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真16）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真17）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真18）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真19）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真20）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真21）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真22）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真23）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真24）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真25）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真26）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真27）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真28）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真29）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真30）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真31）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真32）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真33）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真34）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真35）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真36）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真37）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真38）。

エネルギー消費量を削減する

手段としてフレート

（写真39）。

</